

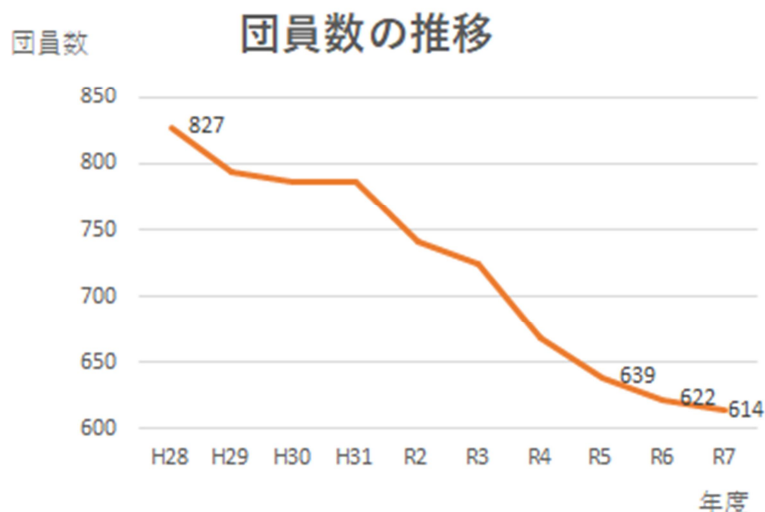
令和 8 年度
千曲市消防団改善計画

令和 8 年 3 月
千曲市 危機管理防災課

1.はじめに

策定の趣旨及び経過

千曲市消防団の団員数は令和5年4月2日時点で、条例の定数834名のところ、実員数が639名、充足率は76.6%です(令和7年4月2日時点でも、実員数は614名で、充足率は73.6%)。団員数は平成20年から現在までに200人以上減少しており、消防団員の確保が喫緊の課題となっています。



そこで、千曲市では令和6年3月に「令和6年度千曲市消防団改善計画(以下、「改善計画」という。)」を策定しました。この計画は令和4及び5年度に住民参加型システム「ポリネコ！CHIKUMA」等を通じて集めた消防団員の声を基に課題を整理し、「今後も千曲市消防団が持続可能な組織であるためにどうすべきか、現在の消防団活動のあり方を見直す第一歩とすること」を目的としています。

本計画は、団員数の実態や合併経緯を考慮しつつ、消防力を維持し、将来にわたって持続可能な消防団体制を構築することを目的としています。

改善計画で整理した課題は以下の5点です。

- ①団員の大きな負担になっている消防ポンプ操法大会のあり方
- ②団員の大きな負担になっている新入団員確保のあり方
- ③団員から疑問の声が多く寄せられた各種イベント(お祭り警戒等)との関わり方
- ④団員から廃止や改善を求める声が多く寄せられた消防団行事(任命式や出初式等)のあり方
- ⑤その他の諸課題にどう対応するか

改善計画では「毎年度、1月～2月頃に各主要方針に基づく実際の活動の進捗や反省事項の確認(ローリング作業)を行い、次年度の活動計画に反映させること」としています。本計画では、令和7年度の改善計画で掲げた取り組みの進捗をPDCA方式で振り返り、令和8年度の千曲市消防団活動に反映することとします。

なお、今回より一定の改善が図られた内容については、本計画から除外しますが、分団長会議等では除外した項目も含めて振り返りを行い、今後の消防団活動に向けて適切に進めていきます。

※消防団条例定数の見直しについて

令和元年以降は、少子高齢化による人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響等が重なり、消防団の団員数は減少傾向が続いており、加えて、令和4年度から実施された「年額報酬の個人支給化」により、団員の実動状況をより正確に把握できるようになったことが、団員数の変動に影響を与えています。

こうして把握された現在の実団員数を踏まえ、千曲市は令和8年2月に消防団の条例定数を見直す対応を行いました。この改正は、「条例定数の削減＝消防力の低下」を意味するものではなく、現状の消防力を維持できる水準を確保した上で、団員の活動実態を踏まえ、将来にわたって持続可能な組織として活動を継続できる体制を構築することを目的としています。その結果、現行の条例定数834名から令和7年度の実員数に近い630名へと定数を改める方針とし、令和8年3月の市議会です承されました。

引き続き、本計画の実施を行いながら、地域の消防力を維持しつつ、将来にわたって持続可能な消防団体制を構築することを努めてまいります。

2.令和8年度事業の主要方針

【方針作成にあたり大事にしたい基本姿勢】

令和7年度策定の改善計画で示した以下の基本姿勢を継続します。

- 1.消防団が必要とし、持続可能な組織であるための取り組みか
- 2.目的が明確であり、団員がその意味や意義を理解できる取り組みか
- 3.目的達成のための方法が最適と言える取り組みか

【方針に基づく主要な取り組み内容について】

令和7年度策定の改善計画で示した「改善計画の運用」に基づき、令和7年度に改善計画で掲げた課題に対して、実際の活動の進捗や反省事項の確認（ローリング作業）を「PDCA方式(※)」で行い、令和8年度の活動計画に反映させます。また、令和7年度に分団長会議で提言された新たな課題に対する取り組みも含めることとします。

※…PDCA方式とは：Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)という一連のプロセスを繰り返し行うことで、業務の改善や効率化を図る手法。本計画においてCheck(評価)は、各事業直後の分団長会議での振り返りや、令和7年度千曲市消防団アンケートの結果等(結果は別紙参照)から整理します。

3.令和 7 年度事業の振り返りと令和 8 年度の取り組み(PDCA)

テーマ①ポンプ操法大会のあり方

令和 7 年度計画で掲げた主要方針(要約) (P)	令和 7 年度中に実施できたこと (D)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 操法大会に代わる総合的な訓練の実施 (大会は休止し、「操法技術総合訓練会」を実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 操法技術総合訓練会の実施 ・ 上位大会参加の希望制導入
令和 7 年度の評価・反省点 (C)	令和 8 年度の取り組み (A)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 負担軽減は肯定された一方、夏季の熱中症リスクや実施時期への不満 ・ 指導者層の習得度低下への懸念 ・ 他チーム見学必要性 ・ 当日の駐車場混雑等 	<p>一定の改善が図られたため、本計画からは除外する。なお、実施後の振り返りは行う。</p>

テーマ②新入団員の確保のあり方

令和 7 年度計画で掲げた主要方針(要約) (P)	令和 7 年度中に実施できたこと (D)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 改善の取り組みを継続し、団員及び家族の負担軽減と満足度向上の両立を図る。 ・ 企業/区・自治会への働きかけを継続する。 ・ 新規 PR 事業として「消防団フェスタ(仮称)」を実施する。 ・ SNS の活用等について研究を進める。 ・ 機能別消防団について研究を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区・自治会への働きかけの継続 ・ 区長会連合会での協力要請 ・ 消防団フェスタの開催 ・ 県と連携し地元郵便局で、消防団勧誘 PR の実施。
令和 7 年度事業の評価・反省点 (C)	令和 8 年度の取り組み (A)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 負担軽減が進んだ結果、OB が再入団を検討する事例有。 ・ 消防団フェスタでは大勢の来場者があり、市民へ向け PR ができた。 ・ 企業への直接的な働きかけや優遇措置の浸透、SNS を活用した広報は未だ不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入団員の確保については、条例定数の見直しを踏まえ、団員の処遇改善や企業・団体への協力依頼などの施策を継続して推進。 ・ 消防団員協力事業所の PR 強化。 ・ SNS の活用等について研究を進める。 ・ 機能別消防団について研究を進める。

テーマ③各種イベント(お祭り警戒等)との関わり方

令和7年度計画で掲げた主要方針(要約)(P)	令和7年度中に実施できたこと(D)
<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の出動は令和6年度の方針を継続する。 ・祭典本部に警戒範囲は煙火消費に係る部分のみとすることを求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸倉上山田温泉夏祭りは、令和6年度と同様に地元分団で警戒を実施。
令和7年度事業の評価・反省点(C)	令和8年度の取り組み(A)
<ul style="list-style-type: none"> ・改善の取り組みに一定の評価は得られた一方で、祭典本部が事前に示していた対策が取られておらず、現場の消防団員が対応に苦慮した。 	<p><u>一定の改善が図られたため、本計画からは除外する。なお、実施後の振り返りは行う。</u></p>

テーマ④消防団行事(任命式や出初式等)のあり方

令和7年度計画で掲げた主要方針(要約)(P)	令和7年度中に実施できたこと(D)
<ul style="list-style-type: none"> ・式典関係が伴う行事は、極力簡略化を図る。来賓招待及び各種挨拶は最小限に抑制する等、式典開催準備の際に都度検討する。 ・消防団のPR機会の創出として「消防団フェスタ(仮称)」を実施する(テーマ②で記載)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度と同様、任命式や出初式は、街頭行進を省略し、参集範囲や式典時間を縮小した開催。 ・消防団フェスタの開催。
令和7年度事業の評価・反省点(C)	令和8年度の取り組み(A)
<ul style="list-style-type: none"> ・任命式や出初式では団員の負担軽減を図り、概ね高評価を得られた。 ・消防団フェスタでは大勢の来場者があり、市民へ向けPRができた。 ・各種行事前に団員に行うアンケートの実施については要検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に向けた消防団PRは引き続き行う。 ・令和7年度に引き続き、式典関係が伴う行事は、極力簡略化を図る。 ・街頭行進の実施については事前に分団の意向を確認する。

テーマ⑤その他の諸課題

令和7年度計画で掲げた主要方針(要約)(P)	令和7年度中に実施できたこと(D)
<ul style="list-style-type: none"> ・準中型免許取得に対する公費助成制度の開始・運営 ・女性消防団員確保のための研究を継続 ・土日に限らない効果の高い訓練の開催の検討・実施 ・消防団活動マニュアルの作成 ・事務局と消防団員との対話の機会を増やす取り組みを検討・実施 ・消防団員のモチベーション向上につながる施策について検討を継続 ・幹部の任期について、課題を整理し、方針を示す 	<ul style="list-style-type: none"> ・準中型免許取得に対する公費助成制度の創設。 ・アンケートで要望が多かったドローン講習(消防学校主催)の実施 ・消防団アンケートの実施
令和7年度事業の評価・反省点(C)	令和8年度の取り組み(A)
<ul style="list-style-type: none"> ・準中型免許取得補助を開始。今後も若年層の新入団員も見込まれるため継続して行う。 ・今までにない機会の訓練を実施できた一方で、その訓練結果を生かす場が必要。 ・多くの事項を盛り込みすぎたため、全ての対応が困難となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その他の諸課題については、分団長会議で優先順位を付けたうえで、順次対応してまいります。

令和8年度 千曲市消防団事業計画(日程表)

R8.3.18現在

月日	曜日	事業内容	対象
4月5日	日	10時 任命式(千曲市役所 3階301大会議室)	幹部・新任班長・新入団員
		AM 消防本部講話(千曲市役所 3階301大会議室)	正副団長、正副分団長
		AM 第1回分団長会議(千曲市役所 3階301大会議室)	正副団長、正副分団長
4月16日	木	16時 第1回埴科消防協合理事会(消防本部)	正副団長、消防係長
4月18日	土	消防学校操法講習(消防学校)	12名(希望者)
4月18日	土	ラッパ吹奏講習会(消防学校)	2名(正副ラッパ分団長及び指揮者等希望者)
4月19日	日	8:50 規律訓練(戸倉インドアコート)	幹部・新任班長・新入団員
		10:40 消防車両安全運転・誘導管理講習会(消防本部)	各分団2名程度(車両運転員)
		10:40 第2回分団長会議(未定)	正副団長、分団長
		17:30 消防団新旧幹部引継会(中央ホテル)	正副団長・前任幹部・新旧分団長
5月8日	金	16:00 第1回消防団幹部等連絡会議(消防本部) 仮	正副団長、事務局
5月16日	土	AM 災害図上訓練 DIG(総合観光会館)	全分団(各分団6名程度)
5月21日	木	PM 第2回埴科消防協合理事会(千曲市役所)	正副団長、消防係長
5月22日	金	長野県都市消防長・消防団長・事務主任者会議(長野市) 仮	団長、消防係長
5月24日	日	水防訓練(大西緑地公園)	全分団
		ポンプ操法講習会(大西緑地公園)	各分団10名程度
6月4日	木	埴科消防ポンプ操法大会審査員会議(消防本部)	
6月5日	金	千曲川重要水防箇所合同巡視(千曲川重要水防箇所及び水防倉庫) 仮	正副団長、消防係長
6月6日	土	副団長講習会(消防学校)	新任副団長
6月21日	日	千曲市操法技術総合訓練会/埴科消防ポンプ操法大会(大西緑地公園)	全分団
6月28日	日	千曲市操法技術総合訓練会/埴科消防ポンプ操法大会(大西緑地公園)(予備日)	全分団
7月2日	木	10時 千曲市防犯協合理事会(千曲市 あんずホール)	団長
7月3日	金	PM 県大会主将会議(消防学校)	県大会出場チームの分団長
7月12日	日	長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会(消防学校)	出場チーム、正副団長、全分団長
7月18日 19日	土 日	戸倉上山田温泉夏警警戒	正副団長、第11、12分団(警戒範囲によっては変更あり)
8月7日	金	千曲川納涼煙火大会警戒	正副団長、第8～11分団
9月3日	木	PM 第3回埴科消防協合理事会(坂城町役場)	正副団長、消防係長
9月6日	日	千曲市総合防災訓練(戸倉小学校)	正副団長・第8・ラッパ分団
10月4日	日	普通救命講習Ⅱ(千曲市役所 301会議室)	各分団3名
		冬期ポンプ維持管理講習会(千曲市役所 302会議室、立体駐車場)	ポンプ車機関員
10/16.17.18		オフロードバイク講習会(消防学校)	2名(各分団の希望者)
10/23.24.25		ドローン講習(消防学校)	5名(各分団の希望者)
10月24日	土	第16回長野県消防協会消防団長・事務担当者研修大会(長野市)	団長、消防係長
10月31日	土	千曲市消防団フェスタ(市役所南側駐車場ほか) 仮	全分団
11月9日	月	火災予防広報パレード(市内全域)	正副団長・分団長
		秋の全国火災予防運動 9日～15日	全分団
11月19日	木	PM 第4回埴科消防協合理事会/行政・協会合同会議(千曲市内)	正副団長、消防係長
12～1月		一人暮らし高齢者家庭防火チラシ配布	全分団
12月10日 ～11日	木 金	消防団員指導員研修(消防学校)	千曲市・坂城町のどちらかから一名
12月28日	月	歳末特別警戒督励巡視・開始式	全分団
1月17日	日	千曲市消防団出初式	正副団長・全分団
1月24日	日	坂城町消防団出初式	参考情報
1月27日 ～29日	水 金	第26回消防団幹部候補中央特別研修	千曲市・坂城町のどちらかから一名
3月1日	月	火災予防広報パレード(市内全域)	全分団
		春の全国火災予防運動 1日～7日	正副団長、分団長
3月4日	木	PM 第5回埴科消防協合理事会(坂城町役場)	正副団長、消防係長
その他年間活動 分団長会議・・・年10回程度開催			
消防本部で秋に実施する「消防フェスティバル」は11/7(土)か11/14(土)であり、共同開催を含め、関わり方を検討			
第2回 消防団等幹部連絡会議(2月予定) <(消防本部主催)正副団長及び事務局>			
消防水利・機械器具点検 随時<各分団>			
機械器具点検(エンジン始動必須)・防火啓発--毎月定例日に実施<各分団>			
※ AED講習会(人数10名前後～)、HUG講習会(人数20名前後～)等各分団及び各地区等での開催可能 日程等調整必要			
※ 各地区のイベントに消防団コーナー等を設け積極的に参加(アピール)する。事務局で企業訪問等も行う。			

4.改善計画の運用

本計画の内容は、令和7年度と同様に、年度末付近(1月～2月頃)に各主要方針に基づく実際の活動の進捗や反省事項の確認(ローリング作業)を行い、次年度の活動計画に反映させる。また、年度途中でも、本計画に関連する消防団員からの声を分団長会議等で共有し、必要に応じて、柔軟に修正を行う。

5.参考資料

令和7年度千曲市消防団アンケートの結果概要

目的：千曲市消防団改善計画の更新作業の参考にするため、令和7年度の消防団事業の改善の取り組みの評価等を千曲市消防団員に尋ねたもの。

設問数：全10問

回答方法：インターネット上で回答する「webアンケート」で実施

回答期間：令和8年2月1日(日)から2月13日(金)

回答数：97

回答結果詳細：別冊資料参照

令和8年度千曲市消防団改善計画

令和8年3月策定

編集発行／長野県千曲市危機管理防災課

〒387-8511

長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地

TEL 026-273-1111

E-mail bosai@city.chikuma.lg.jp